

ノーモアヒロシマ・ノーモアナガサキ・ノーモアフクシマ 核と人類は共存できない 原発ゼロへ



今を生きる私たちの 目の前の問題

四條 隆幸

大園 篤子さん

「被爆国日本でなぜ再び放射線被害に苦しむ人達を生み出してしまったのか、私は今も自問自答しています」と原水禁世界大会開会総会挨拶で田上長崎市長はこう語りだしました。

毎年参加している原水禁大会ですが、今年ほど涙腺が緩んだ大会はありませんでした。特に福島からの発言は本当に胸が詰まります。先の見えない不安と怒りを押し殺しながら、絶望



参加された大園さん(右)と江川さん



してしまっような状況のなかでも支えあう姿に、人間のすばらしさを感じるとともに、「ノーモアヒロシマ」は過去の問題ではなく、今を生きる私たちの目の前の問題であると強く感じました。

分科会「核兵器・原発とエネルギー問題」でも、原発は原始力潜水艦の原子炉を陸に上げ開発されたもの。政財界の原発利益共同体による利潤優先のなか、「安全神話」のごまかしのなかで進められてきたこと。また、「原発NO」の国民投票を成功させたイタリアからも連帯の報告がありました。また、各地の原発立地地域からの反対運動の取り組みも報告され、原発依存からの脱却と自然エネルギーへの転換を求める道筋を確認しました。東京の若者からは、原発利益共同体を崩していくのは困難



ただ、便利さの中に生きている僕らも一緒になって闘っていくことの発言もありました。

閉会式では、「核兵器全面廃止のアピール署名54万8244筆は、国連に展示し、草の根運動と連帯します」との国連軍縮問題担当上級代表セルジオ・ドアルテさんの約束が紹介されました。日常のなかでも出来ることはあります。核兵器禁止・反原発・被爆者援護法の改正などの署名、広島市や長崎市のホームページをみることも、そして、家庭・職場・友人と話しあうことからはじめましょう。

政府は正しい情報を流さない

四條 隆幸

江川 隆幸さん

今回初めて参加しましたが、原爆・原発の恐ろしさを改めて感じました。たくさんの方の若い人や海外代表が参加していることに驚きました。

また、分科会「放射能汚染・被害住民はどうたたかいたか」では、ヒロシマ・ナガサキ・フクシマだけでなく、核兵器工場周辺住民やチェルノブイリ原発被害者、マーシャル諸島の核実験被害者からの報告があ



り、共通していることは「政府は正しい情報は流さない」ということです。特に心に突き刺さったのは、福島の農民組合の方の、農作物の放射能汚染被害に加え自殺者が増えているという報告。「だまされるな!!」と怒りをこめて訴える米国のハンフォード風下住民の方の訴えでした。

閉会式のクミコさんの歌

最後に、カンパ等代表

保育特休の復活を 拘束8時間労働の実現を

女性部が要求書提出

女性部では第57回定期大会で出された意見を女性部長会議で補強し、8月10日

に要求書と要望書を提出し、私たちの長年の要求であった拘束勤務時間15分短縮は実現しました。保育特別休暇が廃止され、子育て中の人にとっては時間延長となり、早出遅出や部分休業の15分単位取得は可能となったものの、子育て支援策としては後退している実態から、小学校1年生まで拡大し

てほしいという声も含め、その復活を求める声は大きくなっていくことを訴えました。節電のためには二部勤務を廃止し一斉退庁に！WTC移転の中止など職場の切実な声を当局にぶつけました。また、今年度から給料表が改悪されましたが、男女の賃金がどうなっているのか実態を明らかにするよう求めました。



要望書では厚労省や看護協会でも長時間労働が問題になっている病院の二交代制導入はしないよう要望しました。

誰でも時給1000円以上に 非常勤の3年雇い止め撤回を

府公職労が要求書提出



8月17日、府公職労は、知事あて要求書を提出しました。賃金要求では、専門職については、今年4月から長年の要求が一定前進しましたが、非常勤作業員は、時給934円にとどまっています。賃金の大幅な底上げこそが、景気回復、震災からの復興・復旧につながります。誰でも時給1,000円以上への引上げを求めました。雇用問題では、非常勤作業員の2回更新、3年雇い止め問題が発生します。日々雇用から通年雇用に変更したことは評価しますが、2回更新・3年雇い止めの法的根拠がなく、3年雇い止めの撤回を求めました。その他、泉南市で発生したプールでの男児死亡事件にみられるように「安ければよい」とする民間委託で働く労働者に生活できる賃金を確保するための公契約条例制定などを求めました。

自然の造形美と美ゆら海を堪能！

第17回 スキューバダイビング IN 宮古島



毎夏恒例のダイビングツアーは、20代から60代のOBまで幅広く13名の参加で8月24日から3泊4日で開催されました。宮古島は5年ぶりということもあり、多数の延泊希望がありました。航空便の確保が難しく延泊となりませんでした。しかし、船も貸切で、1日3ダイブを安く、ゆったりと過ごすことが出来ました。1メートルを超える「ロウニアジ」や洞窟の中の「イセエビ」、クモノミなどの熱帯魚、サンゴなど海の美しさと「中の島チャンネル」「アントニオガウディ」「なるほどザ・ケープ」など地形が織りなす洞窟を堪能してもう十分かと思いきや2日目の最終は「魔王の宮殿」に潜行してダイビングを終了しました。また、夜は3日間、宮古の居酒屋で全員そろって、ダイブ論議に花を咲かせて帰阪しました。